

総務省自治大学校施設の管理・運営業務の評価（案）の概要

1. 業務内容及び契約期間

自治大学校施設の管理・運営業務（設備管理、警備業務、清掃業務、植栽管理、廃棄物処理、寝具賃借、複写機リース、複写機保守、ファクシミリ保守、製氷機保守、入寮受付及び退寮説明等、入校経費の徴収・納入業務の各業務）を行うもの。

契約期間：平成 22 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日までの 3 年間

2. 実施状況に関する評価

- 包括的に達成すべき質として設定された以下の項目について達成。
 - ア 施設利用者の満足度
 - ・ 研修生に対して実施するアンケートの各項目における「普通」以上の評価が 80%以上を占めること。
 - イ 停電・空調停止・断水
 - ・ 管理・運営業務の不備に起因する停電・空調停止・断水がないこと。
- 受託事業者の改善提案に基づき、施設の管理・運営に係る委託業務全体について、自治大学校との窓口として統括責任者が常駐し、業務全般について包括的な管理が行われるなど、民間事業者の創意工夫が業務に反映されている。

3. 実施経費に関する評価

- 実施経費（平成 22 年度及び平成 23 年度の平均）は 194,740 千円であり、従来の実施に要した経費 200,967 千円（平成 20 年度）に比べ 6,227 千円（3.1%）の経費が削減。
- 従来個別業務ごとに行っていた契約を一括化したことにより、契約事務及び支払事務が大幅に軽減。

4. 今後の事業

- 本事業は、良好な実施状況であると評価できる。このため、次期事業においては、新プロセスへ移行した上で、事業を実施することが適当であると考えられる。
- ただし、次期事業においては、入札情報の周知徹底など更なる競争性確保に努め、一層の経費削減を図るとともに、施設利用者の満足度を評価するためのアンケートについて受託事業者の責めに帰すことができない項目を見直すなど、求める質の達成状況が的確に反映される内容となるよう検討する必要がある。

以上